

あさくらゆかりの著名人

スポーツ・文芸・芸術分野で活躍した人物

第十五代横綱 初代 梅ヶ谷藤太郎

志波・梅ヶ谷の出身で、土俵成績一一六勝六敗（幕内二〇場所）、勝率九割五分、歴代横綱の中でも最高の成績を残した、明治時代の力士です。幼少期から力持ちで、生後七ヶ月で一七kgの石臼を引きずって這い回っていたと伝えられています。

後藤暢

恵蘇宿出身の水泳選手で、第一五回オリンピックヘルシンキ大会に出場、個人では競泳男子一〇〇m自由形で四位入賞、団体では競泳男子八〇〇m自由形リレーで銀メダルを受賞しました。

草場龍治

朝倉市出身の車いすラグビー選手で、パリ二〇二四パラリンピック競技大会に出場し、金メダルを受賞しました。中村哲医師に次いで、二人目の市民栄誉賞受賞者となりました。母校は馬田小学校です。

宮崎湖処子

三奈木出身の詩人で、明治二十三年に刊行した『帰省』は多くの若者の心を掴み、当時のベストセラーとなりました。後に、作品名がついた郷土のお菓子も誕生しました。

豊島与志雄

福田出身の児童文学作家で、『レ・ミゼラブル』『ジャン・クリストフ』『千一夜物語』など多くの翻訳も手掛けました。芥川龍之介とも親交があり、第三次「新思潮」を起こしました。福田地域では毎年、生家跡地の記念碑前で「顕彰会」が開かれ、小学校参加による童話作品の朗読や、研究同人による講演会などが行われます。

竹宮恵子

徳島県出身の漫画家で、代表作には『風と木の詩』『地球へ…』などがあります。後進育成に熱心に取り組み、京都精華大学で教授を務め、後に学長に就任しました。平成二五年から朝倉市に拠点を移し、朝倉市子どもの読書活動推進キャラクターのデザインを手掛けるなど、地域の読書活動推進に貢献、令和七年度には文化功労者に選ばれました。

金田和郎

京都府行橋町の出身で、大正一一年に福岡県立朝倉中学校（現 朝倉高校）及び朝倉高等学校の図画教師として赴任しました。日本画を得意とし、『樗牛賞』を受賞した『水蜜桃』をはじめ、数々の名作を残しました。

萩谷蔵

三奈木出身の洋画家で、大正一一年に渡仏、薔薇の絵がベルギー王室に買い上げられたことを契機に薔薇を生涯のモチーフとして描き続

け、「薔薇の画家」と評されました。フランスの有名な展覧会「サロン・ドートンヌ」では審査員を務めました。

大内田茂士

大福出身の洋画家です。浜哲雄や高島野十郎、山喜多二郎太との出会いから画家を志し、上京後は鈴木千久馬に師事しました。昭和五九年に『秋の卓上』で日展内閣総理大臣賞を受賞するなど、数々の名誉ある賞を受賞しています。

徳田玉龍

甘木出身の日本画家で、明治四三年に朝鮮に渡り、朝鮮金剛山をテーマに多くの作品を描きました。昭和時代に引揚げた後は富士山に傾倒し『富嶽百景』を制作、秩父宮妃の台覧を得ました。甘木本町の田神社には、玉龍が描いた絵馬が奉納されています。

佐野至

甘木出身の版画家で、朝倉市郡の中学校で教師を務めながら、多くの作品を残しました。ふるさとの人物や風景を題材にした作品が多く、素朴で温かな作風が特徴です。甘木橋の欄干レリーフをはじめ、市内公共施設のデザインや社寺の案内板など、さまざまな場所で作品が活用されており、広く市民に親しまれています。



朝倉市ホームページ
ふるさと人物誌